

地域振興における聖地巡礼の効果

齋藤 航祐

本研究では、今後アニメ聖地巡礼を持続的な観光にするにはどうすればよいのかについて考察する。その背景として、昨今アニメ市場は爆発的な拡大を見せ、コンテンツツーリズムと言う観光も地域振興の足掛かりとして注目を浴びている。その 2 つの要素を持ち合わせたアニメ聖地巡礼は地域振興に効果的であることがわかっている。しかし一方で一過性の問題を指摘されている。本研究では、これまで聖地巡礼は一過性のものであるという指摘がなされてきた聖地巡礼を持続的なものにするためにはどうすれば良いのか、という問いを立てた。それに対し、地域によるファンの受け入れやグッズ作成、他地域とは違うアニメの特徴を活かしたイベント創出を行い、聖地巡礼に訪れたファンの満足度を高め、再訪意識を持ってもらうことが持続的な観光につながるのではないかと仮説を立てた。

本研究では、ゆるキャン△の聖地である山梨の事例を通して研究を進める。山梨では聖地巡礼が 2018 年のアニメ放映より 7 年間続いている。また、経済効果だけでなく、聖地巡礼者による消費単価が高く、地域の意識向上など様々な効果をもたらしている。実際にやまなしフィルム・コミッションの武川氏にヒアリングを行い、その結果から考察を行った。グッズを作ることや、聖地でのファンの受け入れ土壌を掲載することで実際に聖地に訪れたファンの満足度が向上することがわかった。また、アニメの特徴を活かしたイベントの創出は聖地巡礼に訪れるファンの観光動機に合致することがわかり、満足度を向上させている結果となった。

このような取り組みは全て満足度向上に繋がっていることがわかる。また満足度の向上が再訪意識を促すことも本論文で明らかとなっている。つまり、グッズの作成や受け入れ土壌の形成、アニメの特徴を活かしたイベントの創出は満足度向上に繋がり、再訪意識に繋がると言える。よって仮説は証明された。